

研究に関するご協力のお願い

当院産婦人科では倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。当院における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

研究の題名：白河厚生総合病院における周産期合併症と分娩の現状についての検討

研究期間：2024年11月～2025年3月31日

研究機関長の氏名：白河厚生総合病院 病院長 大木 進司

研究責任者：白河厚生総合病院 産婦人科 大越千弘

【研究の目的・意義について】

当院における現在の分娩の現状を把握するとともに、周産期合併症についてどう対応しているのかを検討することで当院での分娩の傾向の理解につながり、より個別化した周産期医療を提供することが可能になると考えこの研究を実施します。

また、体外受精などの生殖補助医療による妊娠は自然妊娠と比較し妊娠高血圧症候群や癒着胎盤、分娩時異常出血などの周産期合併症が多いことがこれまで報告されていることから、当院においても体外受精などの生殖補助医療で妊娠した患者さんが自然妊娠やその他の不妊治療群と比較して周産期合併症の頻度が高くなっているのかどうかを検討し、今後の周産期管理の方針を決定していくことを目的としています。

【研究の方法について】

2019年1月1日～2023年12月31日までの5年間に当院で分娩した症例を対象とし、分娩歴、妊娠の方法について、妊娠中の合併症の有無、分娩の結果（分娩所要時間、分娩方法、分娩時の出血量、児の体重、Apgarスコア、分娩時の合併症）について電子カルテ上にある情報を収集しています。すべてカルテの内容から情報を得るため、改めて患者さんに検査などをお願いすることはありません。

【個人情報の保護について】

収集した情報は誰のデータかわからなくした（匿名化した）上で、検討を行っていきます。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究へのご協力は患者さんご自身の自由意志に基づくものです。情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。また、この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ等の連絡先】

〒961-0005 白河市豊地上弥次郎2番地1 白河厚生総合病院
産婦人科 大越千弘電話 0248-22-2211（代表）